

高校教育指導課通信 VOL.5

「高校教育指導課通信」では、新型コロナウイルス感染症対策に伴う各学校の工夫した取組等について情報提供します。第5号は呉三津田高等学校です。

令和2年6月3日(水)

呉三津田高等学校 <http://www.kuremitsuta-h.hiroshima-c.ed.jp/>



主体的な学びを促す授業づくり

—動画づくりが授業研究を促進—

「授業のどの部分を動画で配信するか？」から始まった授業改善のPDCA

⇒「授業のどの部分を動画で配信するか？」

この問いにより、対面授業で行ってきた解説や指示・発問の場面の見直しを迫られました。5～10分程度で動画を配信するためには、その授業においてどの部分を動画で行うことが生徒の深い学びにつながるか事前に考えるようになりました。同時に、板書計画や発問計画も併せて考えるようになり、これまで以上に、主体的な学びを促す授業づくりの本質に迫った授業研究が進んでいます。



互いに撮影し合うことで授業研究の効果も

⇒動画の作成により自身の授業を客観的に振り返る機会や、互いに

撮影し合うことで相互授業参観の機会となり、回を重ねるごとに生徒の思考の流れや理解に寄り添った授業展開に改善されている手応えも感じられています。

生徒の家庭での学習を支える環境づくり

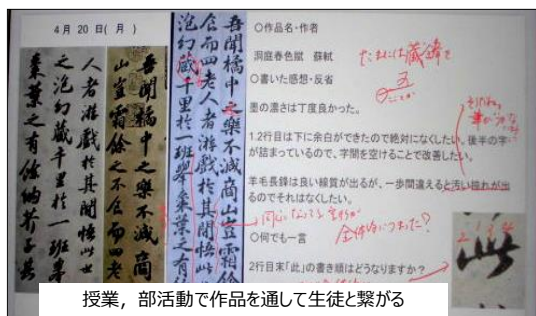
—遠隔でも最大限支えるセイフティネットの構築—



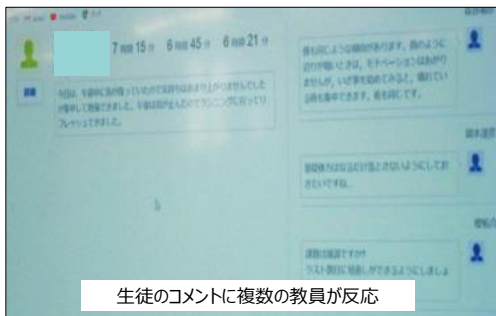
「生徒1」対「教員5+α」の関わり

⇒毎日、一人の生徒の書き込みに対して最大5人+αの教員（担任、副担任、学年主任、生徒指導主事、部活動顧問等）がClassiからコメントを返信します。

⇒定期的に校長、教頭、主幹教諭等からビデオメッセージが配信され、家庭での生徒の学習をサポートしています。



授業、部活動で作品を通して生徒と繋がる



生徒のコメントに複数の教員が反応

担当の先生より
日頃から多くの教員が生徒に関わることを大切にしてきました。そのことが、今回、一人の生徒に複数の教員がコメント送信することにつながったようです。

返信の少ない生徒については、電話連絡したり登校時に面談したりして状況把握に努めています。

今後も、「高校教育指導課通信」で様々な情報を各学校へ発信してまいります。取材の希望等がありましたら、高校教育指導課へ御連絡ください。

